



島ふれあい公園内の小道とせせらぎ（島三丁目）

市議会 だより

No.192
平成23年1月1日

○ 主な内容

各会派新年の抱負 2
議会日誌 5

謹賀新年

年頭のごあいさつ



市議会議員
大島 一夫



市議会副議長
友次 通憲

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成23年の新春をお健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

さて、我が国経済が依然として厳しい状況の中、本市においては、市民が真に必要なとする事業の実施や地域の特性を活かした個性あるまちづくりに取り組み、将来を見据えた諸施策が着実に進展いたしましたことは、市民の皆様温かいご理解とご協力の賜と、厚くお礼を申し上げます。

また、昨年には、企業跡地に大学の新キャンパス開設が決定するという明るいニュースもあり、今後、茨木市の活性化につながるものと期待をしております。

市議会といたしましては、議会機能のさらなる充実を図るため、「議会改革・活性化検討委員会」を全議員賛同のもと設置し、活発な議会活動を展開できるよう取り組んでまいります。

市民の皆様には、本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、幸多き年になりますよう心から祈念いたしましたして、年頭のごあいさついたします。

市議会
だより

抱負

自由民主党・市民会議

新年あけましておめでと〜ございませう。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は自由民主党・市民会議会派メンバーに多大なるご支援を賜り深く感謝と御礼を申しあげます。

さて、昨年は大変厳しい経済情勢の中、茨木市も行財政改革に取り組み、市民の皆様にご協力を頂いて、一昨年から駐車場の有料化を実施し、また、今年4月からは公共施設使用料金の見直し、変更を予定しております。

いずれも、市民の皆様にご負担を頂き、利用者の立場から公平な受益者負担とは言えない部分も出てくるかも分かりませんが、私たちは何時も市民の立場で事を進めなければならぬと考え行動しております。何時でも皆様の声をお聞かせくだされば検討し、市政に反映してまいります。

また、行財政改革を進める中で、当



上田 光夫



中内 清孝



下野 巖



木本 保平



上田 嘉夫



大谷 敏子

会派は、昨年9月議会で議員年金の「即時廃止」を訴えましたが否決されました。総務省は今年の6月頃に廃止も含めて検討することですが、現行での市負担は年間約4千万円になります。廃止が遅くなりますと、その間に支払った公金支出は市民の税金からであります。私たち会派は、市民サービスの低下をさせない為に、議員特権とも言われている議員年金の廃止を自ら訴えてまいりました。市民の皆様のご理解をお願いいたします。

発・駅前再開発を進め、茨木市の将来が活気あふれるまちになるように提唱してまいりました。幸いにして、昨年11月16日にサッポロビール工場跡地に立命館大学が1万人規模の学舎を建設すると発表されました。このことは茨木市民にとって、待ちに待った未来に希望と夢が叶う最も良い出来事として歓迎しています。平成27年開校のことです。今後進める開発で立命館大学と茨木市が共同開発し、市民と学生がともに学び利用できる場所となる

また、これらの問題以外にも、市民の皆様から情報をいただき一つ一つ解決してまいります。その為には「歩く・聞く・心える」を基本として、市民皆様の声を大切に聞き、市政に反映し魅力と活気あふれるまちづくりに取り組んでまいります。

どうか本年も、昨年同様に、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、本年も皆様に幸多い年でありますよう、心よりお祈りいたします。

公明党

新年あけましておめでと〜ございませう。皆様方におかれましては、輝かしい新春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

平素より公明党に真心こもるご支援



坂口 康博



河本 光宏



村井 恒雄



大島 一夫



青木 順子



篠原 一代



松本 泰典

を賜り、心より感謝申し上げます。さて、昨年の国内状況は、『政治の

劣化』『経済の劣化』『社会の劣化』が深刻化し、追い打ちをかけるように、

各会派 新年の

緊張感を持ち、行動第一をモットーに政策実現に取り組んできました。社会の隅々からの生活者の声に耳を傾け、あるいは声なき大衆の思いを汲み上げ、政策実現に結び付けてまいりました。

平成21年10月、唯一の『予防できるがん』である「子宮頸がん予防ワクチン」の国における承認を得ることができたのも、その出発点となったのは、「二人の女性」の声からでした。

ここを起点とし、全国の地方議会から、公明党を中心に、ワクチン接種費用の公的助成制度が実現し、昨年は国における公費助成実施へと大きな流れを作り上げることができました。茨城市議会におきましても、子宮頸がん予防ワクチンの公費助成の必要性については、国と連携しながら何度も訴えてきました。

また昨年は、厳しい市の財政状況で

はありましたが、市民の皆様から公明党に頂きました1万6600名の署名を反映し、小学校普通教室へのエアコン設置、病児保育の実施、妊産婦健診の14回公費助成、中学校ラウンジ事業の拡充や学校の耐震化工事の推進をするこ

とことができました。

これからも公明党は、市民の声を行政に届け、実現すると同時に、地方議会に求められている役割を深く自覚し、その責任を果たしてまいります。

今、地方議会は、市民の声を今まで以上に反映することや市民にわかりやすい議会活動にすることなど、議会の一層の活性化を図ることが必要です。茨城市議会では、昨年10月に「議会改革・活性化検討委員会」を発足さ

日本共産党



朝田 充

新年あけましておめでと〜ございませう。日頃の日本共産党市会議員団に対するあたたかいご支援とご協力に心から感謝申し上げます。

私たちは、昨年の老人・障害者医療費市単独助成の縮小、下水道料金の引き上げ、公共施設使用料三割五割減免廃止といった市民サービス削減と負担増は不況に苦しめられている市民活動を一層沈滞させ街の雰囲気をお暗くさせ



畑中 剛



阿字地洋子

せ、新たな改革をスタートさせました。首長と地方議会の二元代表制の在り方や議会が果たすべき役割について、市民の皆様と共に改革を推進してまいりたいと考えています。

公明党茨城市議員団は、大胆な発想と行動力で、夢溢れる街づくりと市民生活の向上のために、公明党らしさを発揮し全力で頑張つてまいります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

るものだと撤回を求めるとともに、大型開発や箱もの建設に依存した街づくりではなく、保育所の増設や歩道整備など市民に身近な公共事業への転換と民生費や教育費の増額を求めてまいりました。

こうした中、昨年は皆さんと力を合わせて小学校普通教室工費増額、病児保育の実施などを実現することができました。明けて2011年。今年も市民の皆さんとより一層、力を合わせ行政の責任放棄となる公共施設民営化・民間委託や、公的扶助の給付基準の見直しといった市民犠牲はストップさせ、国保料の引き下げや特養など介護施設整備、住宅リフォーム助成制度創設、地域コミュニティ交通運行などの重点施策の実現へ全力を尽くしてまいります。どうか本年もよろしくお願いいたします。

会議録の閲覧

市議会では、本会議の「会議録」を定例会、臨時会ごとに発行しています。市役所南館1階の情報ルーム、各図書館で自由に閲覧できますのでご利用ください。

また、議会ホームページ (<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/gikai/>) でも掲載しております。なお、12月定例会の会議録は、2月中旬に発行の予定です。

刷新市民 フォーラム

新春のお喜びを申しあげます。

無所属の議員5名で結成する私たち「刷新市民フォーラム」は、①政党や組織にとらわれず、②市民の代表として、③現在だけではなく未来の茨木市像を考え、④会派内でも議論をつくり、判断・決断・行動することを基本理念とし、昨年も職務に努めて参りました。

昨年は冬季バンククーバーオリンピック・パラリンピックでの日本人選手の活躍を期待と興奮で見守るとともに、人が一生懸命に取り組む姿勢に国や人種を超えて感動を共有できました。

しかし、それも束の間、沖縄の米軍普天間基地問題を皮切りに、ワシントン



小林美智子



桂睦子



辰見登



羽東孝



山本隆俊

ン条約会議でのクロマゲ口問題、バンコク暴動での日本人ジャーナリスト死亡、尖閣諸島問題、朝鮮半島問題など、国際社会の中で「日本」を考えさせられる一年でありました。

国内経済を振り返っても、日本航空の経営破たん、日経平均株価の一時1万円割れ、外国為替市場では15年ぶりのドル安80円台に示されるような不安定さが続くとともに、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）等の問題が

浮上しています。

このような背景から、国民・市民の経済格差も縮まるどころか、広がりが増しており、茨木市民の暮らしにおいても、例外ではありません。知恵と工夫で新たな行政システム、新たな「まち」を構築することが急務であります。本市にとって、企業の撤退などの問

題がある中、サップロビル工場跡地の立命館大学建設をはじめ、新たな茨木をつくる希望も見えはじめてきました。

未来のまちをつくるのは行政や政治家ではありません。市民こそが「自治」の担い手であり、未来像を描けるのです。「あれもこれも」の消費社会から、「あれかこれか」をきちんと議論し、選択できる成熟社会を目指すためにも、私たち刷新市民フォーラムは、国や府に振り回されることなく、茨木市が持続可能に安心して、充実した暮らしが営めるまちとなるために、行政のチエック機能強化は勿論のこと、政党や会派を超えて議会改革・活性化や政策提案を行っていくこと、新年の約束といたします。

民主みらい

あけましておめでとございます。市民の皆様には、お揃いでお健やかに輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃は私たち民主みらい議員団に対し温かいご指導、ご鞭撻を賜り、本当にありがとうございます。

私たちは本年も6名が心と力を合わせ、現在・未来の市政課題に取り組む決意です。



中村 信彦



石井 強



田中 総司



安孫子浩子



滝ノ上万記



友次 通憲

さて、昨年は地球的規模での環境変動をうかがわせる夏の猛暑や局所的な

豪雨、さらには国内での口蹄疫の発生、経済面でも引き続きデフレ傾向や円高

不況、新卒生の就職内定率低下などの暗い話題の一方、2年ぶりに日本人のノーベル賞受賞者が出るなどの明るい話題もありました。

本市におきましても市内からの工場移転が続いておりましたが、それらの地域への大学の進出決定やJR新駅設置に向けた話し合いの開始など、ピンチをチャンスに変え、未来に希望が見える明るい話題もありました。

国政の面では一昨年の政権交代の結果、昨年度予算においては公共事業費の減、社会保障費や教育費の増など、今までの政権とは一味もふた味も違っ

た政策も打ち出されています。

一朝一夕にドラスティックな改革は実現できてはおりませんが、確実に変化は起こってきておりますので、少し長い目で見守っていただければ幸いに存じます。

一方、地域主権改革の流れは確実に進んでおり、自治体の権限や責任は重くなっております。

「分権改革」を、単に国から自治体への権限や財源の移譲にとどめるので

変えていく力



大野 幾子

新年あけましておめでとうございませす。本年もよろしくお願ひ申しあげませす。

私たち「変えて

いく力」はこれまで行財政改革に取り組むと共に、福祉・医療・教育などの充実を訴えてまいりました。また本市の「農」の在り方や「協働」の在り方についても議論をさせて頂いているところだす。厳しい財政状況が続き、市民の皆さんにもご負担をお願ひするこ



塚 理



福丸 孝之

はなく、主権者である皆様により近い、「地域」でそのことを受け止め、子育て・子育て支援や高齢者支援、街づくり、生活や就労支援などの事業を身近な「地域」で、市民やNPOと行政の「協働」で進めていく機能・システムを創り出していく時期になっていると考えております。

同時に、私たち民主みらい議員団は、茨木市議会として進めている「議会改革・活性化」にもさらに積極的に取り組んでいきたいと思います。無駄を省くのはもちろんのこと、限られた大事な予算を活かすためにも、市民の皆さんとの対話を大切にしていきたくと考えています。

3年前のリーマン・ショック以来、大変苦しい経済状況の方々が揃っている昨今ですが、家と仕事があり、毎日ごはんを食べ、そんな当たり前の生活をきちんと行っていただけのような生活保護以外の新たなセーフティネットをつくるべく、政治の役割を果たしていきたいです。全員30代の若輩の私たちではあります、これからも汗をかき知恵を出し、全力で頑張つてまいります。どうか引き続き皆さんの温かいご指導・ご鞭撻をお願ひ申しあげませす。

会派に所属しない議員



岩本 守



山下 慶喜

あけましておめでとうございませす。

緑多く、図書館の充実、子どもを育て、住み続けられるまちづくりに全力。

今年も元気に市民と共に、くらしと生命を大切にする社会をめざします。

組み、二元代表の一方の柱である議会の「分権」時代における「あるべき姿」を追求してまいります。

本年もこのような立場を基本に、「安心・安全、明日に希望が持てる」茨木の街づくりに全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげませす。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年になりますよう心からお祈り申しあげ、ご挨拶いたします。

《おしらせ》

11月臨時会と12月定例会の内容については、平成23年2月1日発行予定の市議会だより第193号で掲載を予定しておりますので、ご覧くだねう。

議会日誌

10月

4日

幹事長会

5日

議会広報委員会

5日～6日

北部丘陵開発対策特別委員会行政視察

7日

千葉県越谷市・

7日

千葉県印西市

7日～8日

安威川ダム対策特別委員会行政視察

22日

幹事長会

27日

議員総会

11月

議会改革・活性化検討委員会

4日

議員研修会

11日

文教常任委員協議会

17日

幹事長会

24日

議会基本条例検討部会

30日

議会広報等検討部会

30日

議会運営委員会

30日

本会議（臨時会）

市議会だより